

新潟県

公民館月報

昭和60年10月号

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市川端町2-9・県林業会館内】

【電話・新潟(0252)24-6073】〔振替新潟0-4049〕

発行人 会長代行 佐藤 眞 武

編集人 事務局長 本田 清

【定価1部 120円 年共 1,440円】



コスモス

やさしいコスモスの花は、庭先に野辺に、去り行く秋風に、乗って軽く咲いている。細い茎が、ある秩序と調和を保ち、無造作な線を引く、茎の先端は、白淡紅、深紅の秋桜が、群をなしてめれ動いている様は、人々の後姿をのぞくよらかな風情である。

昨年の荒川町の文化祭に、四季の花と題して七点程出品したものの中から的一点を選んだ。趣味として見よう見まねで色紙に水彩したものである。

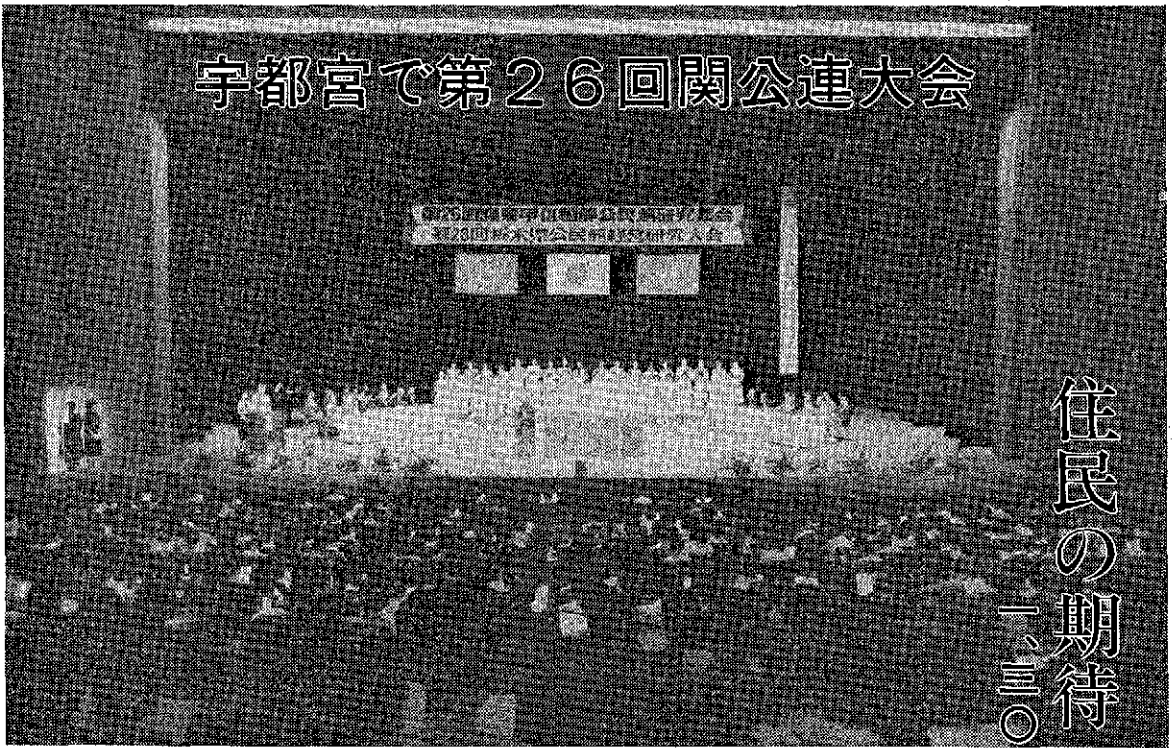
季節感もあり、やさしさをよく表現しているとして、町の方々、特に若い女性の方から好評をいただいた。

常に雑草化として目にかげられない花が、本紙月報の表紙にされることは、嬉しいことである。原産は、メキシコとさく。

渡辺 彰 (荒川町

町民会議役員)

宇都宮で第26回関公連大会



住民の期待にこたえる公民館

一、三〇〇名が十四分科で討議

さる九月五・六日の両日、第二十六回関東申信越静公民館研究会が宇都宮市文化会館で開催された。管内からの参加者は約千三百名、そのうち本県からの参加者は田中岬県公連副会長(長岡市)以下十一名と少なかつたが、山北町公民館長板垣七造氏、同教育次長本間茂氏、下越教育事務所社教課長藤家殿氏は、「地域づくりと公民館」分科会のそれぞれ司会、発表、助言者の役割を果たし、活躍した。

本大会の共通テーマは「住民のは、大会共通テーマを掲げての期待にこたえる公民館をめざして」ンボシウム。登壇者は、真岡市長菊池恒三郎氏、宇都宮大学教授斎藤孝次郎氏、僧侶松原昌田氏、随を考える」とするもので、公民館の持つ固有の機能と役割を将来の展望に立って検討し、趨勢の確立と活動の方向を確認しようというねらみ。

(開会式で「公民館の歌」を斉唱)



(あいさつする田村栃木県公連会長)

第一日は開会式・基調提言と千うち「公民館の管理運営(町村部四に分かれて)分科会。二日目は「の概要を、進め下つて紹介。

まず、第一日の分科会の内容の

公民館関係法令・解説(資料)

内容：教育基本法、社会教育法、社会教育法施行令、公民館の設置及び運営に関する法律、通達一公民館基準の取扱いについて(詳し解説あり)、公民館職員、同連合会等公携の書、一冊三〇〇円(送料別)

申込先：〒171 新潟市東区二ノ丸森森公民館内 県公民館連合会事務局。

討議の主な内容
発表を受けて熱心な質問、意見が出され、特に公民館の管理運営に多たつては、公民館連合会がなされるのではなかつたか。の役割が極めて重要な要素を占めており、地域住民の意識を十分に反映することをも、地域住民ともにも結び公民館づくり、そして時代に即応した企画、事業運営が必須である。

助言の内容

公民館連合会委員の委嘱にあつては、ただ単に第何号委員の代表者という形を選出するのではなく、いかに「やる気があるか」という観点から選出しないと、諮問せうりになりがちであり差戻りが多くなる。したがって委嘱は慎重にすべきである。

職員連立配置については、いろいろ問題はあるが、専門職を含め最低一人は必要である。

職員養成制度にも問題があり、現在の社会教育士資格取得制度も現場にマッチした内容をもっと取り入れるべきである。

一部の県では実施されている

が、広域にわたる公連連合委員の連絡協議会を定足させ、委員相互の研修、情報交換を図ることによつて、健全かつ進歩する公民館連合会がなされるのではなかつたか。

分科会の反省点
公民館の管理運営という大きなテーマの中で討議で、広範にわたる、ひとつの方向を導くには時間が足りなかつた。

「情報化時代と公民館」分科会討議の主な内容
TVの著作権の問題。
心の教育が大事な時期、ニーマニアに心が破壊されないか。
公民館活動の中で視聴覚をどのように導入してゆけるか。現在ひとつの壁につきまわっている。視聴覚機材、ソフトの管理費し出しについて

助言の内容
住年の価値観が多様化しているので、指導方法も多岐にわたる。いままでの学習は「一斉学習」が多かつた。一つの方法として、講師と学習者の媒体に利用できる。今後は視聴覚グループの育成・指導者の養成を考えた



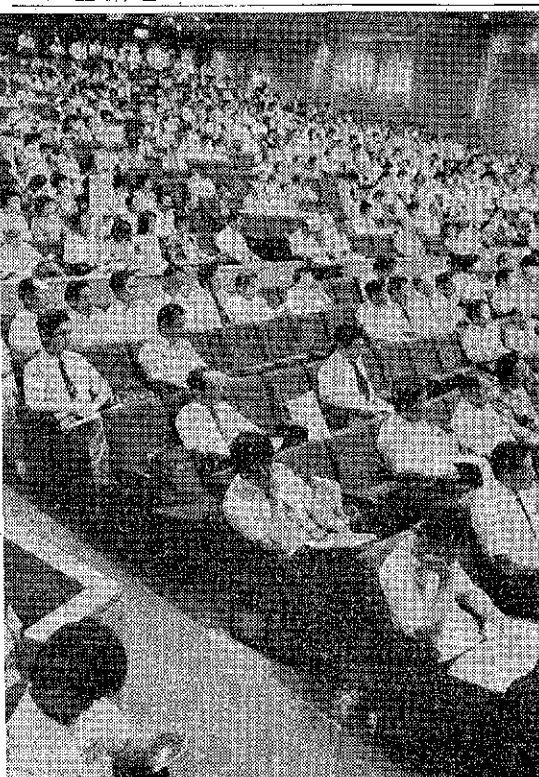
「生涯教育時代に即応した公民館のあり方」の理念にもあつて、公民館の発展のためには、住民の自治能力の向上にあるといふ。豊かである、生きがいのある生活を各自すすために、住民と行政とが一体となつて努力していかねばならぬ。さうして、次の点について考え



「生涯教育時代に即応した公民館のあり方」の理念にもあつて、公民館の発展のためには、住民の自治能力の向上にあるといふ。豊かである、生きがいのある生活を各自すすために、住民と行政とが一体となつて努力していかねばならぬ。さうして、次の点について考え

残された課題
利用放棄者組に対する著作権について
映像文化をどのように活用していくか、どう利用していくか大きな問題である。
NHK視聴料の有料化について
次回大会には、偏見と教育と公民館」というテーマを設定してほしい。(宿願)
二日目のシンポジウムでは、公民館の実務経験のある笹原保茂木馬場前橋市で開催された。この町長の司会により、四人の講師に よつてすすめられたが、このうち菊池恒三郎青森市長と松原白田天台宮城県主任職はともに公民館の長、社会教育課長の経験者で、身成長した。

近かな内容ある話題を提議し注目された。一方、社会教育学者として登壇した斎藤健次郎宇都宮大学教授は、法理論にとられない生涯教育体制の必要を説き、紅一点の随筆家志賀かづよさんは、切味のよい現代文明批評と生涯教育体制の意見を指摘する話題を展開して拍手が多かった。
この関係大会は、第一回が群馬県前橋市で開催された。この旅館で分科会まで実施できるほどであった。以来それぞれの開催地の地域性を加味しながら回を重ね、近年は一千名を超える大会に



「これからの公民館像」

星野正夫

- 一、地域の活性化のための先導的条件整備に当たる。
- 二、生活に関する問題をつかむ能力の開発
- 三、人材の発掘とグループ化
- 四、学習課題の編成
- 五、地域の還元
- 六、研修の機会を
- 七、時代に即応した施設の実現

復員前夜の誓い新たに

公民館に隣接している勤労青少年ホームの事務長を兼務する私、昨春から県ホーム協議会の会長を、今春からは北関東新潟地区ホーム協議会の会長を仰せつかり、先頃、科学万博会場内で開かれた「北関東新潟地区勤労青少年チャンポリー」で、主催者の一員としてあいさつをしたが、このことは私の人生で忘れられないことではない感謝であった。

それは私が志願兵として入隊し、終戦を迎えたのが水戸陸軍航空通信学校であり、茨城県は止むがが青香の地であり、その後の私の人生への行轍を決めた地でもあるからであった。

「しくなった戦友の死を無にしないために役立つ仕事に、これからのわが人生を」と、ひとそかに誓って復員したから四十年の歳月が過ぎた。復員してから十年間は、復員後の書いに来すために、何をしてらよいかを探し続けた十年間であった。

さういふ昭和三十年に公民館勤務を命ぜられたが、この仕事

公民館番頭日記

公民館の絵画教室での傑作・利用グループのなかで絵をよすする人の作品など、なるべくタテ位置(父・子長)で詩かれたもの(名画・旧跡・文化財)などのほか、季節感を表現する風物を期待します。

これらから応募していただく方は、秋、冬、春の季節に合致した絵柄を望みます。

絵の説明又は四百字程度、絵の作者と別の人の書いたものでも結構です。採印のものには図書券を贈謝をお贈りしています。(本紙編集部)

このチャンポリーでのあいさつで私は、「このチャンポリーを、今年の国際青年年を、自分のかけがえのない人生をもっと大切に、ひそかな誇りを持って生きよう」とす、新しいスタートにしていきたい。」と述べたが、この言葉はまた自身に言い聞かせる言葉でもあった。

九月十六日、科学万博の閉会式をテレビで観ながら「これからも吾々の次を受けつづける者たちを、ひそかな誇りにする」との言葉をこころに、何日かの仕事にひそかな誇りを持つて進みたい。」と、誓いを書き入れた。

柏崎市中央公民館 参事兼事務長 徳岡助夫

果す公民館活動のあり方 (1)

老人の利用者数は1日60~70名と予想され、それに見合う設備だったが、実際に開館してみると、1日120人の利用で年間6万人の利用者があり、5年間変化はない。

学童保育の方も希望者が多く、定員オーバーの児童を収容している。

センター全体としては、年間利用団体は800団体で延人数15,000人で、学童保育が12,000人、図書館利用者が8,000人で合計で59年度では10万人を超えています。

建設要請の時の約束により、最初から地元へ管理を委託され、いろいろな機能を備えた施設であったために、担当する市の課がなかなか決まらなかったが、昭和58年にコミュニティセンター条例ができ、生活課が担当することとなり、窓口が一本化されました。

最初の地域の準備は運営委員の選出でしたが、自治連合会を中心に老人クラブ、婦人の代表20名で構成し、互選で役員を選出し、6名で執行にあたっています。

管理人もボランティア精神に富んでいる人で恵まれています。

運営する経費は集会や会合で利用する団体から基準を設けて協力してもらっています。

ただ、あまり遠く離れていない所に木戸公民館があり、同じ市の施設でありながら、おかしいという不満の声もありましたが、建設要請時の約束もあって、利用者から理解を得て協力費をもらっています。

最初のうちはもの珍しさがあって利用はあるが、そのうち月日が立てば無料の方が利用されるのではないかという不安もありましたが、実際にはそうではなく、年々利用者は増加しています。

次に、運営委員会についてですが、運営委員会の事業は従業員研修会、利用者代表との懇談会、広報紙の発行、備品の整備などが主です。

研修会と懇談会は年2回、広報紙の発行は年に1回で年間の利用の状況、利用者の意見や感想を掲載し、住民に配布しています。

備品についてはようやく扇風機や網戸、テレビ、掃除機などを整えることができました。

運営委員は主に自治連合会代表者を中心に構成されていますが、設立運動に尽力されたことと協力費だけではどうしても維持できなくなった場合に住民からの協力が必要となります。

そこで協力が必要になった場合、センターの状況を住民にお知らせする時も自治会を通して行っているし、またセンターの実態をよく理解している自治会長さんがおられます。

開館以来、東京都足立区や鶴岡市、千葉市のコミュニティセンターから視察があり、いずれの地域も「老人憩いの家」が同居していないというお話であったし、またどこも市職員が常駐しており私達の施設と比較して羨しいと思いました。**本間** テレビでちょっと見ましたが、外資系の会社で退年間に近人が学習計画を出すと、その学習が実行できるように会

社が資金を出してくれるようなところがあるようですが、このようなことがすぐに新潟にも表われるとは思えないが、企業の高齢化社会への対応を感じます。

私はこの場で公民館のあり方など大それたことはとてもいえません。

従ってNHK文化センターとは何かということについてお話をします。

みなさんから受信料をいただいている特殊法人のNHKとは違う組織ですが、全く異なるのではなく、NHKのテキストを発行している日本放送協会やNHKサービスセンターと同列で、会社でいえば子会社であります。経済面は独立しています。

従って株式会社ですから、受講生からお金をいただき、それで賅っています。

全国に11ヶ所あって、来年は名古屋と京都に設立されるようですが、年に1・2ヶ所ずつ広がっています。

文化センターそのものが建設するのではなく、ずるいようですが地域から要請があって誘致されます。

会場費が高く建物を建設するわけにはいかないので、アパートやホテルなどの要請によって設立されます。

新潟の場合には、ご存じのように白山会館の中にあるわけで結婚式場であり、会場は安くないが白山会館からの誘致要請があって、昭和57年に短期間の準備で設立しました。

教育産業はあまり儲かるものではありません。

大都市の東京や大阪では企業提携をしているところがありますが、新潟では私ひとりで行っているいろいろなことができるわけではありませぬので、公民館さんのライバルなどという立場ではありません。

また新潟では受講料をとられることに抵抗があり、東京本社との話し合いで受講料を決めているが、東京よりも少し安くしています。

期間も週に1回ではなく2週間に1回程度に長くするようにしていますが、お金を出して教養を身につけるのは抵抗があるようです。

無料でできる公民館は強い立場ではないでしょうか。

東京から高名な先生をお招きすることもできず、受講生が多くなければ運営ができないので、いろいろと苦面をします。が、ひとりの力ではどうにもなりません。

ただしNHKの公共の電波を使って広報できることが強みであります。

講座の運営についてですが、講師の謝礼は受講料の3~4割に止めないと成り立たないといわれていますので、1万円の講師であれば、1回1,000円くらいの受講料だと25~30名の受講生を集めなければならず、お金をとるわけで至難のわざであります。

市の公民館では50人くらいは軽く集まるそうで、こちらは50名の募集で15人が自主的に集まり、それを20人にするのがやっとなです。(以下次号)

第36回新潟県公民館大会 パネル討議のあらまし

生涯教育の基幹的役割を

司会者	BSNアナウンサー	池葉 宏
パネリスト	利用者代表	
	主婦	山 県 智恵子
	類似施設代表	
	新潟市木戸地区コミュニティセンター 運営委員会会長	増 井 未 次
	カルチャセンター NHK文化センター 新潟営業所長	本 間 金 三
	公民館職員	
	黒埼町公民館 社会教育主事	高 井 琢 平
	研究者	
	上越教育大学教授	前 用 幹
	市町村理事者	
	豊栄市長	石 井 耕 一
記 録	新潟市野曽木公民館	伊 田 千 代 子

池葉 公民館活動について不勉強でわからない点もありますが、ご了承願いたい。

まず、利用者代表の山県さんからお願いします。
山県 私は退職したら、レクリエーション活動の普及に力を注ぎたいと以前からそう思っていました。しかし、それだけではまだ余力があるので、その余力をどう使うかあれこれ考えた末、人間は死ぬまで勉強ということで公民館に行きました。

改めて市の広報を見ると、講座や講習、教室、自主教室などがたくさんあります。学ぶ意欲さえあれば、機会や場はいくらでもあると思い、私は意を強くしました。

私は公民館に出入りしているうちに幅広い年齢層の人達がいろいろな目的で利用しており、また学習を通して視野を広げ、教養を高め、楽しく生きる生き方を身につけることも知り、実にすばらしいことだと思います。

いうまでもなく、公民館は多くの市民が利用する身近な教育施設で、生涯教育の最先端の現場です。その公民館の果たしている役割の大きさをしみじみ感じています。

一方、進展する社会は市民の価値観や学習の多様化をもたらしている。市民が公民館に寄せる期待はますます強まってきました。

公民館の果たす役割の重要性に鑑み、今後一層活動内容を充実させる必要があります。

以下わずかな経験ですが、感じていることをいくつか述べさせていただきます。

(1) 学んだことを地域に還元する学級を

自主開放の市民大学講座のなかの福祉部会を受講して社会福祉協議会と社会福祉事務所との相違や実態、私助・互助・公助の相違の明確化などを中心に学び、福祉の現状を知るとともに将来を展望することができました。わたしたちにできることは何か、今後どのようなことに力を注ぐべきか道を示されました。

今具体的に実践していることはボランティアバンクの設

立とボランティア連絡協議会の機能をどのように高めていますかです。

これは個人のレベルではなく、受講生をはじめ、多くの人の力を結集してはじめて可能になるのです。

1歩でも前進していきたいです。

学習は単に個人のレベルではなく、自分の得たものを人のために役に立っていく姿勢が大切ではないかと思えます。

私達の学習活動が充実した背景には、会場の確保や運営全般にわたる公民館の大きな援助がありました。

公民館の大きな援助があったがゆえに、活動が持続できました。

今後、学んだことのいくらかでも地域に還元していきたいです。公民館でも地域の課題や生活課題につながる学習の一層の充実をはかってほしいと思えます。

(2) ボランティア講座の受講から

障害児をもつお母さんや知覚障害者の方の参加もありました。

受講後の感想発表会で知覚障害者の方は「知覚障害者はまだまだ幸せだ、もっと大変な障害の方が立派に自立しておられるのを知り、勇気が湧いた」と述べられました。

障害者の自立が叫ばれる今、心身に障害をもつ人にとって学習の機会の必要性は健常者よりも一層切実です。

また、農村・都市を問わず広い地域にわたって学習ニーズがあり、とくに近年は家族や隣近所の協力が得られにくいという実状があります。

以上のようなことを考え合わせると、障害者の学習の場の充実が大切であると同時に、障害者の参加を容易にするためにボランティアの誕生も必要です。

(3) メディア教育

ニューメディア時代に対応するために公民館のワープロやパソコン教室は必要です。

過剰の情報社会の中で、価値のある情報を選択する眼を養う必要があります。

公民館の講座を契機に個人あるいはグループ活動を展開していかなければなりません。またそれらへの指導、援助も期待しています。

増井 公民館の類似施設ということで、木戸地区コミュニティセンターの設立・開館の概要について説明します。

新潟市木戸地区は世帯数1万1000戸あまり、人口は3万5000人です。

コミュニティセンターは1階が老人フロアで男女の浴槽と廊下のついた44畳の大広間と管理室です。

2階は、60畳の集会室と料理実習室(20人定員)と学童保育室(40人定員)と図書室で床延面積が770㎡と小じんまりとしている施設です。

昭和53年に自治連合会7団体が木造市宮住宅の鉄筋建築への改造に伴い、その敷地内に住民の福祉を考えた多目的に利用できる施設の建設を請願し、昭和55年に新潟市ではじめてコミュニティセンターが設立されました。

実践記録シリーズ

(2)

公民館活動実践記録シリーズを復活しました。活動の苦心談・成功例など送稿ください。

やってよかつた公民館まつり

竣工を祝って三十四団体、五千人が集う



(日頃きたえたノドを披露する見調会の面々)

一、はじめに

見附市には六つの公民館があり、それぞれ独立並列の体制をとっている。過去二ケ年間、毎年一館ずつ、新しい公民館が新築され、今年市役所の中心地にあつて、対象人口約二万の中央公民館が市民の期待を担つて、五月十二日に新築オープンした。その内容は鉄筋三階建、二、八七七坪、集会室15室、設計から竣工まで約二ケ年を要した新公民館の竣工を祝つて、オープンと同時に開催した「中央公民館まつり」を紹介する。

二、まつりのねらい

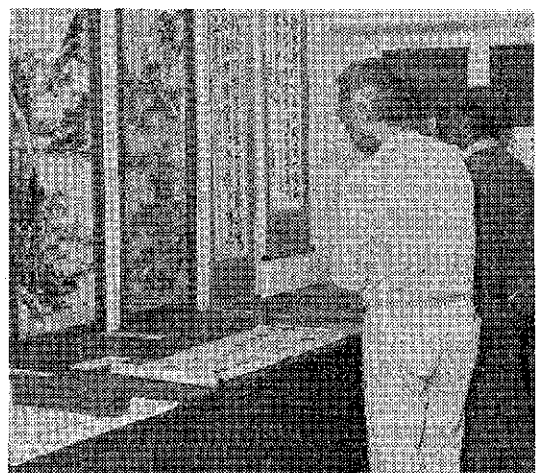
（一）公民館が主催する学校、講堂に合わせ、公民館まつりを催し、公民館を利用しての各種団体の活動、市民の芸術文化創造の発表の場として、又地域の芸術文化活動の盛衰、相互交流の場とした。

（二）誰でも気軽に集える公民館まつりの概要

まつりのいろいろな活動を通して、市民相互の心と心のふれ合い、通じあえる場づくりを目標として、ミニミニパーティ形成の一助とした。

（三）事業内容

①公民館施設の一部公開(初日)
②芸能発表(十八団体)、文藝まつりの実施は、一設落してからとも思つたが、しかし多少無理を跳、日本舞踊。



(見附市先賢遺墨展)

三、まつりのねらい

（一）公民館が主催する学校、講堂に合わせ、公民館まつりを催し、公民館を利用しての各種団体の活動、市民の芸術文化創造の発表の場として、又地域の芸術文化活動の盛衰、相互交流の場とした。

四、これからの課題

（一）今年度の公民館まつりは、公民館職員ペースを進めたが、来年度は、市民の意見を更に反映し、市民サイドに立つた実行委員会制度を取り入れて実施したい。

外に多く、また多様な参加があつた。特に「見附の歴史研究会」が出展した先賢遺墨展は、ほとんど見ることのない、郷土の俳人「佐野良太」、教育家、北海通開拓者「天陰」、教育家、文入「庄川松五、おわり」。

公民館まつり初日の一般公開で、見附市にとって、思いの外、立派な公民館が完成したことに感動して、来館者のお婆さんが、「大勢の力は偉大なものだ」と感嘆しておられたが、その言葉を大切に、今後ともよき多くの市民の声を反映し、協力いただきながら公民館まつり、また公民館運営が出来るよう努めていきたいと思ふ。

(見附市中央公民館 社会教育指導 木津庄吉)

資料歓迎

公民館で作成した資料や文芸作品、品類または館報などをご送付ください。もちろん、県内の皆さんへも紹介してまいります。

投稿歓迎

感想文でも結構、折にふれ、気軽にペンを書かせてください。採用文には粗品を差し上げます。

—編集部—

第5回 見附市中公まつりプログラム

Table with columns: 期 (Date), 時間 (Time), 内容 (Content), 容 (Venue). Lists various events from May 12 to May 20, including music performances, dance parties, and tea parties.

公民館祭所感

長谷川 栄



第五回中央公民館まつりに参加した。今年は何年になく大勢の市民の方々の後援場をたまりました。...

仮中央公民館から移転のため、リハールと議員出で、全力投入していた。...

生は高く評価する。また参加団体として個性の強いもの、弱いもの、民謡を唄うもの、踊るもの、...

てくれたかな。あの人はどうか。いよいよ蘭特、客席からは惜しみない拍手と声援、良かった。...

「公民館・現場からの実践記録」と題した連載特集を継続してなりました。この実践記録は、かつて、...

現場の実践記録募集

字数は一、五〇〇字、活動の現場写真や資料等を添え、当館に送って下さい。

展 示

Table with columns: 日 (Date), 時 (Time), 展示内容 (Exhibition Content), 会場 (Venue). Lists various exhibitions from May 12 to June 2.

プロフィール

中之島村社会教育主事補

内 藤 智氏(26才)

新潟県のほぼ中央、置戸原郷の西側に位置し、鹿野を信濃川、刈谷川、猿瀬川に囲まれ、水と共生する、米の村として全国にその名を欲しいままにして来たのが中之島村。...

本村は八つの村が明治三十四年に大合併し今日の中之島村となりました。現在も八つの条例分館を有し、中央公民館を中心としながらも、各分館は独自の計画を企てながら地域に密着した分館活動を活発に進めております。

本村は八つの村が明治三十四年に大合併し今日の中之島村となりました。現在も八つの条例分館を有し、中央公民館を中心としながらも、各分館は独自の計画を企てながら地域に密着した分館活動を活発に進めております。



(中之島村公民館館長 佐々木吉男)

いつも満員「国文学教室」

現地学習で作家の故郷を訪問

新潟市では、昭和組合及び事業、取り組む得ない五十七年度から分館による事業(二期)を中心として、及び市内各分館単位として「地域づくりの自ら」「国文学教室」についてあわせて「地域づくりの自ら」国文学教室については、主活動推進事業を、国文学教室は今年度で四年目を一斉に開始しました。

これにより各回を迎える好評な盛況で、講師は上越教育大学の相馬正一助教授です。相馬助教授は本学治研究の第一人者で、幅広い見識と人柄に加え、えた風味活動も種々花咲ります。

中央公民館では、受講者は幸の世界に浸り切つておられます。今年は平家物語が四回と馬崎藤村が二回、この内一回は

「文学は、その時代背景の強い影響を受けています。作家も人であり、何も偉人ではありません。私の話として、今までとは違った視点で本を読んでいただくと、そんな機会には幸いです。今年度は馬崎藤村のふるさとを訪ね、藤村の生い立ち、生きまが作品にとづかかわっているが勉強していた



だきたいと思っています。きつと新しい音がある息がします。木当り染いものであります。」

「初めて勉強した平家物語、初めは難しいだろうと思つていましたが、時間がたつとも忘れてしまひました。今がと次回がとも楽しんでお聞きするうたい、知らず知らず自分が平家物語の中にのめり込んでしまつて居るのに気がつきました。先生の幅広い知識の一端にふれ、平家時代・鎌倉時代の線が目に写るようで、タイムスリップを経験したような感じがしました。」

「友達からこの講座のことを聞いて参加しました。講師の方が大学の先生かというところで、多少の緊張と期待に胸をときめかせてました。でも、先生のお人柄でした。初めに聞くような言葉も何故か心に残り、わかり易く、人ひとりに語りかけるような解説

このように受講者の方々が好評で、PRするとすぐに定員の五十名が一杯になる得です。会場準備はもうお任せ、出席の確保、資料配付も受講者の方に依頼し、受講者同志のふれ合いも深めていたがいてあります。

受講額 十四日五十円。

※ ※ ※



県大会に参加して 長嶋 勝美

県公民館大会への参加が如何に重要であるかについて一言申し述べたい。われわれ社会人が日増し生活のなかで生涯学習を深めることを指し、日常の生活を如何に有意義のものとするかを、この大会を通じて認識を深めることができようとする。すなわち生涯学習の先導者である田代先生から直接、その創造の苦心談を拝聴し、学習者相互の人間尊重の精神

を学ぶと同時に、国や地方公共団体が国民に負うべき義務と役割を明示された事柄を懐疑すべきであつた。

またシンポジウムでは、受講者は意をそらさず学習の場と機会を公民館に求め、相互の学習を広く深めるとともに更に社会発展に寄与する方法を模索すべきであると主張する等は心強かつた。われわれはあらゆる方法を選択して実践に努力する。

(佐和田町公民館長)

あ と が き

第一回の開会大会は昭和三十四年十一月十九日(前橋市)開かれ、同年四月三十日社会教育法が改正されたのを受けての第一回の大会であった。その直後の十一月二十八日には「公民館の設置及び運営に関する基準規程」も文部大臣によって定められた。その第三条に「公民館の建物の面積は、三百三十平方メートル以上とする。」とある。最低百坪以上あれば、公民館と認めるといふ、この規程は、いまの公民館の広さでラックス化という現状と比較すると低すぎる規程のように思われるが、当時はまた青年公民館、間借り公民館も多く、規程以上の公民館をもつところは少なかった。省りみて感無量のものがある。

※ ※ (中)

公民館叢書

未膳寺春三著 「公民館の原点」

四六判三〇八ページ 頒価一、二〇〇円(送料一部二五〇円)

田代元弥著 「公民館から見た日本の教育」

四六判一三八ページ 頒価一、〇〇〇円(送料一部二五〇円)

「公民館の原点」の著者、未膳寺春三氏は元全公連理事。宮城県本吉町公民館館長をふりだし、同県公連会長とを歴任、同町を定年退職後上京して、鎌倉谷市中央公民館館長に迎えられるなど、草創以来生え抜きの公民館として活躍された人。

また「公民館から見た日本の教育」の著者田代元弥氏は、大東文化大学教授「公民館のあるべき姿と今日の指標」専門委員、さくら「生涯教育時代」に即した公民館のあり方」全公連会中の専門委員会委員。月刊「公民館」編集委員として活躍されてゐる。本年度県公民館大会における基調講演者。

右の二冊、本会事務局でござん。